

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

Fukuoka City Public Library Movie Hall

Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

4

シネラ・ニュース No.215

April.2015



シバジ

イム・グオンテク
林権澤監督
と韓国映画

通常上映

韓国映画の巨匠・林権澤監督と韓国映画の秀作を特集。

特別
企画

ぴあフィルム
フェスティバル in 福岡

第36回PFFコンペティション部門入選作を上映。



ひこうき雲



流れる



イム・グォンテク 林権澤監督と 韓国映画

韓国映画の巨匠・林権澤監督と韓国映画の秀作を特集

会 期：4月1日(水)～19日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳の提示が必要です。)

※「わの会」会員は250円。(会員証の提示が必要です。)

1
9

望夫石(マンブク)

A Wife Turned to Stone



監督：イム・グォンテク
出演：イ・ギョンヒ
チェ・ナムヒョン
日本語字幕付き

18世紀半ば、李朝第21代国王英祖の時代に起きた、王の子供たちによる派閥争いを描いた時代劇。韓国では有名な物語で本作も歴史大作だが、イム監督は効果的に歌を挿入するなど娯楽性に富んだ演出を行っている。

1963年/35ミリ/モノクロ/123分/韓国

1
5

族譜

The Genealogy



監督：イム・グォンテク
出演：チュ・ソンテ
ハ・ミョンジュン
日本語字幕付き

日本統治下の朝鮮。朝鮮名を日本名に変更する「創氏改名」の悲劇を描いた作品。梶山季之の小説を原作としており、イム監督の70年代の代表作。創氏改名を進める日本人・谷は心優しい青年として描かれており、谷を演じたハ・ミョンジュンは大鐘賞主演男優賞を受賞。

1978年/35ミリ/カラー/106分/韓国

2
9

曼陀羅

Mandala



監督：イム・グォンテク
出演：アン・ソンギ
チョン・ムソン
日本語字幕付き

若い禅僧ポプは、中年の僧ジサンと出会い二人で修行の旅に出る。宗教者とは思えない破天荒なジサンにポプは次第に惹かれていく。イム監督が国際的に知られるきっかけとなった作品。宗教を扱った韓国映画の中でも代表的な傑作。

1981年/35ミリ/カラー/101分/韓国

2
5

キルソドム

Gilsodum



監督：イム・グォンテク
出演：キム・ジミ
シン・ソンイル
日本語字幕付き

戦争で生き別れとなった息子を探す主婦ファオンは、息子探しの過程で過去はもはや取り返せない事を知る。朝鮮戦争による家族離散をテーマとした作品で、本作はそのテーマの代表作である。85年大鐘賞作品賞等受賞。

1985年/35ミリ/カラー/101分/韓国

3
11

シバジ

Surrogate Woman



監督：イム・グォンテク
出演：カン・スヨン
イ・グスン
日本語字幕付き

李朝時代末期、跡継ぎのない家のために正妻に代わって子供を産むシバジ(代理母)という制度があった。男尊女卑的な封建制度を告発した作品。若きシバジを熱演したカン・スヨンは87年ヴェネチア映画祭で主演女優賞を受賞した。

1986年/35ミリ/カラー/93分/韓国

3
11

開闢

Fly High Run Far:Kae Byok



監督：イム・グォンテク
出演：イ・ドクファ
イ・ヘヨン
日本語・英語字幕付き

19世紀、朝鮮で広がった東学は新興宗教のように民衆にひろがり、やがて民衆の武装蜂起となる。日本では「東学党の乱」として知られる事件を描いた作品。イム監督はアジアにおける民主主義の先駆けだったと高く評価している。

1991年/35ミリ/カラー/135分/韓国

4
10

春香伝

Chunhyang



監督：イム・グォンテク
出演：チョ・スンウ
イ・ヒョジョン
日本語・英語字幕付き

李朝時代に書かれた純愛ドラマの古典「春香伝」の映画化。ただし単なる映画化ではなく、パンソリに乗せて物語を語るという斬新な手法がとられており、まるでミュージカルのような作品。イム監督の傑作。

2000年/35ミリ/カラー/121分/韓国

4
8

酔画仙

Chihwaseon



監督：イム・グォンテク
出演：チェ・ミンシク
アン・ソンギ
日本語・英語字幕付き

李朝時代末期に実在した画家チャン・スンオプを描いた作品。酒と女を愛し、権力に媚びなかった彼は李朝時代最高の画家とされている。2002年カンヌ映画祭で韓国映画初の監督賞を受賞した傑作。※18歳未満は鑑賞できません。

2002年/35ミリ/カラー/117分/韓国

8
12

下流人生

Raging Years



監督：イム・グォンテク
出演：チョ・スンウ
キム・ミンソン
日本語・英語字幕付き

1950年代末から70年代初めまでの韓国を舞台に、ヤクザの世界でのし上がっていく男の人生を描いた作品。韓国の高度経済成長の時期であり、60年代韓国映画界の裏側が描かれていることが興味深い。

2004年/35ミリ/カラー/105分/韓国

12
17

成春香

The Story of Sung Chun-hyang



監督：シン・サンオク
出演：チェ・ウニ
キム・ジンギョ
日本語字幕付き

韓国では知らぬものはいないと言われる愛の古典「春香伝」の映画化。主演は韓国の伝統的美人で大スターだったチェ・ウニで、監督は彼女の夫であり数々の名作を作ったシン・サンオク。李朝時代の衣装や文化なども見どころ。

1961年/35ミリ/カラー/108分/韓国

10
18

荷馬車

Coachman



監督：カン・テジン
出演：キム・スンホ
シン・ヨンギョ
日本語字幕付き

妻に先立たれ男手一つで4人の子供を育てる主人公を描いたホームドラマ。60年代のソウルの町並みや庶民の生活が温かく描かれている。主演のキム・スンホが子供のために黙々と働く馬夫を演じている。ベルリン映画祭銀熊賞を受賞した秀作。

1961年/35ミリ/モノクロ/98分/韓国

15
18

帰らざる海兵

The Marines Who Never Return



監督：イ・マニ
出演：チャン・ドンフィ
チェ・ムリョン
日本語字幕付き

朝鮮戦争時代、仁川に上陸した韓国海兵隊約50人が、ソウル奪還を目指して中国軍との戦いに挑む姿を描く。当時のスターが数多く出演する戦争アクション映画。ただし特定のヒーローではなく、小隊のメンバーが生き延びるために闘う姿を丹念に追っている。

1963年/35ミリ/モノクロ/109分/韓国

15
17

馬鹿たちの行進

The March of the Fools



監督：ハ・ギルチョン
出演：ユン・ムンソプ
ハ・ギョヨン
日本語字幕付き

大学生ビョンテと女学生ヨンジャは合コンで知り合い、付き合い始める。しかしビョンテは兵役に就かねばならなくなる。70年代韓国映画を代表する「馬鹿シリーズ」の一作。バカ騒ぎをしながらも社会に漠然とした不安を持つ若者の姿に共感する。

1975年/35ミリ/カラー/101分/韓国

16
19

ハンネの昇天

The Hanne's Ascension



監督：ハ・ギルチョン
出演：ハ・ミョンジュン
キム・ヨン
日本語字幕付き

山中の村の祭りの日。マンミョンは滝で投身自殺を図ったハンネを助けるが、村人は祭りの最中に外部の人間を村に入れることを拒む。閉鎖的な山村の土俗的な信仰やお祭りなどが民俗学的な観点で描かれている。

1977年/35ミリ/カラー/108分/韓国

16
19

長雨

Rainy Days



監督：ユ・ヒョンモク
出演：ファン・ジョンソン
キム・ソクン
日本語字幕付き

朝鮮戦争の時代。ドンマンの家に母方の祖母の一家が避難してくる。ドンマンの父の弟は北軍に参加し、母の弟は南軍に参加する。一つの旧家の中で女たちの葛藤に託して朝鮮戦争の悲劇を描いた作品。

1979年/35ミリ/カラー/124分/韓国

ぴあフィルム フェスティバル in福岡



第36回PFFコンペティション部門入選作を上映

主催：福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会 PFFパートナーズ

4月24日(金) 13:00 PFFアワード



波伝谷に生きる人びと

2014年/ビデオ/カラー/134分

監督：我妻和樹

宮城県南三陸町波伝谷部落に住む人々を記録したドキュメンタリー。東日本大震災が起きる前の3年間の、そこに住む人の生活を民俗学的にとらえている。

PFFアワード日本映画ペンクラブ賞



小さな庭園

2014年/ビデオ/カラー/12分

監督：斎藤俊介

CGアニメーション。不思議な生物の乱舞は生命の誕生を思わせる。

4月24日(金) 16:00 PFFアワード



乱波

2014年/ビデオ/カラー/5分

監督：中島悠喜

忍者対忍者の戦いを描いたアニメーション。濃密で壮絶な戦いが展開する。

PFFアワード準グランプリ



丸

2014年/ビデオ/カラー/89分

監督：鈴木洋平

突如部屋に出現したある物体を見たものは時間が止まってしまうという不思議な物語。やがてそれは殺人事件を引き起こし、警察や記者を巻き込んでいく。

4月24日(金) 18:30 PFFアワード



彼は月へ行った

2014年/ビデオ/カラー/19分

監督：藤村明世

親友を亡くしたことで心を閉ざした主人公と幼馴染みの少女の交流の物語。幻想的な映像が美しい。



モーターズ

2014年/ビデオ/カラー/83分

監督：渡辺大知

田舎の整備工場で働くうだつの上がない男の物語。不器用で愛らしい主人公の人間模様に惹かれる。

PFFアワード審査員特別賞

4月25日(土) 10:30 PFFアワード



還るばしょ

2014年/ビデオ/カラー/36分

監督：塚田万理奈

歯科衛生士のちかげの物語。矛盾をかかえながら生きる人生を温かく描く。



独裁者、古賀。

2014年/ビデオ/カラー/79分

監督：飯塚俊光

高校のクラスで苛められる少年・古賀の物語。古賀は同じくクラスで苛められる女性を助けたくて強くなろうとする。古賀のほのかな恋心が微笑ましい。

PFFアワードエンタテインメント賞

4月25日(土) 13:00 PFFアワード



Super Tandem

2014年/ビデオ/カラー/40分

監督：小林真貴

二人の男が自警団を作り、悪人をこらしめようとする物語。スピード感溢れる音楽と映像に引き込まれる。



ガンバレとかうるせえ

2014年/ビデオ/カラー/70分

監督：佐藤快磨

高校サッカー部の女子マネージャーを中心とした物語。青春の揺らぎと輝きを写し取ったような作品。

PFFアワード映画ファン賞、観客賞

会期：4月24日(金)～26日(日)

観覧料：900円(当日1回券) 2,400円(当日3回券) 700円(前売り1回券)
1,800円(前売り3回券) 600円(当日学生1回券)

※定員制。各回入替制。※開場は開演の15分前。

※前売り券はチケットぴあ(Pコード465-998)で2月21日から発売。

※障がい者、高齢者、及び「わの会」割引なし。

4月25日(土) 15:30 PFFアワード



暁の石

2014年/ビデオ/カラー/30分

監督：清原性 飛田みちる

母が失踪した佳子と幼馴染みの光子の話。久しぶりに再会した二人は夏休みに一緒に行動する。



埋み火

2014年/ビデオ/カラー/32分

監督：山内季子

一人で母親を介護する比富美の話。閉塞感と不安の描写が心を打つ。

PFFアワード審査員特別賞



ひこうき雲

2014年/ビデオ/カラー/25分

監督：柴口勲

夏休み前の中学校のクラスで起きた事件を描く。犯人探しの物語が瑞々しく描かれる。監督は福岡県出身。

監督
来場予定

4月25日(土) 18:00 特別上映

ようこそワンピース体験へ!

監督：矢口史靖 鈴木卓爾

「ウォーターボーイズ」の矢口史靖監督と、「ゲゲゲの女房」の鈴木卓爾監督。「ワンピース」とはこの二人の監督が編み出したミニマルな映画製作方法。時間とお金をかけずにアイデアで撮られた短編の数々を楽しめる。

4月26日(日) 11:30 PFFアワード



ネオ桃太郎

2014年/ビデオ/カラー/20分

監督：小田学

「ネオ桃太郎」という映画を撮影する大学映画サークルの話。個性的過ぎる監督や俳優たちによるコメディ。

PFFアワードジュエストーン賞



沖縄/大和

2014年/ビデオ/カラー/98分

監督：比嘉賢多

沖縄生まれの監督が沖縄と本土の間にある心理的な溝を追求したドキュメンタリー。沖縄の今が浮かび上がる力作。

4月26日(日) 14:00 PFFアワード



怪獣の日

2014年/ビデオ/カラー/30分

監督：中川和博

日本沿岸に流れ着いた怪獣の死体をめぐって繰り広げられる物語。3.11以後をテーマとした怪獣映画。



人に非ず

2014年/ビデオ/カラー/65分

監督：矢川健吾

小笠原諸島の島にあるホテルで繰り広げられるバイオレンス映画。

PFFアワード審査員特別賞



流れる

2014年/ビデオ/カラー/13分

監督：橋本将英

小川の側で一人暮らす少年を描いたもの。監督は福岡県出身。撮影当時は16歳の高校生。

監督
来場予定

4月26日(日) 16:30 PFFアワード



反駁

2014年/ビデオ/カラー/51分

監督：伊之沙紀

同じ学習塾で学んだ小学生4人が大学で再会する物語。人間の心の闇を描く作品。



多摩丘陵の熊

2014年/ビデオ/カラー/32分

監督：岡真太郎

多摩丘陵で暮らす兄弟の物語。兄は失声症となり弟は回復を待つ。



ナイアガラ

2014年/ビデオ/カラー/27分

監督：早川千絵

死刑囚の祖父を持つ18歳の少女やまめの物語。日常の音と映像が丁寧に描かれている。PFFアワードグランプリ



3/9 月 ▶ 16 月 特別整理・点検のため休館

17 火 ▶ 28 土 休映／月曜は休館

29 日 自主上映／福岡映画サークル協議会例会

30 月 ▶ 31 火 休館日

林権澤
ホーム・グオンテク
監督と韓国映画

4/1 水	11:00 望夫石(マンブソク)	14:00 族譜
2 木	11:00 曼陀羅	14:00 キルソドム
3 金	11:00 シバジ	14:00 開闢
4 土	11:00 酔画仙	14:00 春香伝
5 日	11:00 族譜	14:00 キルソドム
6 月		休館日
7 火		休映日
8 水	11:00 下流人生	14:00 酔画仙
9 木	11:00 望夫石(マンブソク)	14:00 曼陀羅
10 金	11:00 荷馬車	14:00 春香伝
11 土	11:00 シバジ	14:00 開闢
12 日	11:00 成春香	14:00 下流人生
13 月		休館日
14 火		休映日
15 水	11:00 帰らざる海兵	14:00 馬鹿たちの行進
16 木	11:00 ハンネの昇天	14:00 長雨
17 金	11:00 馬鹿たちの行進	14:00 成春香
18 土	11:00 荷馬車	14:00 帰らざる海兵
19 日	11:00 ハンネの昇天	14:00 長雨

20 月 休館日

21 火 ▶ 23 木 休映日

ぴあフィルムフェスティバル in福岡	24 金	13:00 波伝谷に生きる人びと 小さな庭園	16:00 乱波丸	18:30 彼は月へ行った モーターズ
	25 土	10:30 還るばしょ 独裁者、古賀。	13:00 Super Tandem ガンバレとかうるせえ	15:30 暁の石・埋み火 ひこうき雲
	26 日	11:30 ネオ桃太郎 沖繩／大和	14:00 怪獣の日・人に非ず 流れる	16:30 反駁・多摩丘陵の熊 ナイアガラ

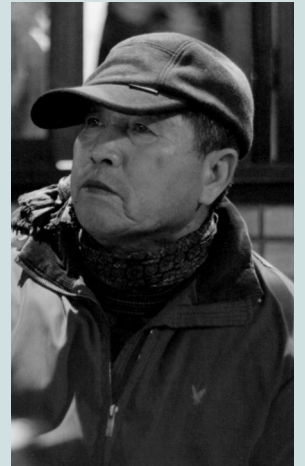
27 月 休館日

28 火 休映日

林権澤監督プロフィール

1936年韓国、全羅南道・長城生まれ。62年に「豆満江よさらば」で監督デビュー。70年代前半まではメロドラマ、アクションなどをあらゆるジャンルの商業映画を監督していた(この時代の映画界は「下流人生」で描かれている)が、「雑草」(73年)をきっかけに作家意識に目覚める。

以後伝統的な韓国文化や歴史をテーマに映画を作る。「族譜」「曼陀羅」「シバジ」等で芸術映画の監督として高い評価を得る。「風の丘を越えて〜西便制」(93年)では興行的にも大成功をおさめ、「酔画仙」では韓国映画初のカンヌ国際映画祭監督賞を受賞。97年には福岡アジア文化賞芸術文化賞受賞。韓国映画を代表する国民的映画監督である。2008年から「林権澤芸術大学」の教授。



自主上映のお知らせ

3月29日(日) 福岡映画サークル協議会第2回例会

上映作品:「ル・アープルの靴みがき」 ①11:00～②14:00～

料 金:一般当日 1,400円／一般前売り 1,200円

シニア当日 1,000円／中・高生当日 800円

主 催:映画サークル協議会 TEL.092-781-2817

※詳細については、直接主催者にお尋ね下さい。

第352回プロムナードコンサート

◆◆◆月に一度のお昼休みのクラシックコンサート◆◆◆

日 時:2015年4月24日(金)12:00～13:00 ※入場無料

場 所:西日本シティ銀行本店1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)

曲 目:ポロディン作曲 弦楽四重奏曲第2番ニ長調「ノクターン」他

演奏者:福岡ハイドン弦楽四重奏団

主 催:西日本シティ銀行／公益財団法人福岡文化財団(TEL 092-473-6777)



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄

西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話 0570-00-1010)に直接お問い合わせください。



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表):092(852)0600

Fax:092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>